

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 活木活木(いきいき)住宅

グループの名称 いえもりの会北東北

直近採択グループ番号 06-0054-0053

(グループ代表者)

代表者名	女澤 克行	代表者印
代表者所属先	有限会社女澤工務店	
代表者所在地	岩手県久慈市夏井町鳥谷第6地割35番地	
代表者電話番号	0194-53-4645	

(グループ事務局)

事務局事業者名	有限会社マルヒ製材	
事務局担当者名	太田 辰男	印
事務局郵便番号	028-0001	
事務局所在地	岩手県久慈市夏井町大崎第15地割1番地1	
事務局電話番号	0194-53-2800	
事務局FAX	0194-53-2238	
事務局担当者E-mail	ohta@maruhiseizi.co.jp	

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数 (必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		10	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	8	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	2	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	4	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	2	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		15	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	8	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		8	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	8	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	2	戸		
	C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		2	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		1	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸	
			高度省エネ型	認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		2	戸
						加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸
							上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸
						その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸
						加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸
							上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸
高度省エネ型		性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		0	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積	0棟					
				0㎡					
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積	0棟					
				0㎡					
E. 平成29年度の執行状況 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	4	戸	交付申請戸数	4	戸			
	完了実績(竣工予定含む)戸数					4	戸		
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸			
	完了実績(竣工予定含む)戸数					1	戸		
高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)									
採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸				
完了実績(竣工予定含む)戸数					0	戸			
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸				
完了実績(竣工予定含む)戸数					0	戸			
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟				
完了実績(竣工予定含む)棟数					0	戸			
採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡				
完了実績(竣工予定含む)床面積					0	㎡			

経験工務店は、前年度配分できなかった工務店を優先とする。
採択棟数の50%申請後に、構成員にヒアリングして公平を期すよう配分する。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 活木活木(いきいき)住宅	(地域型住宅供給対象地域) 青森県、岩手県、秋田県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) いえもりの会北東北	(結成年) 2009 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0054-0053	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	冬季間の厳しく長い期間を快適に過ごせる住いを目指す。構造材は積雪荷重を考慮し構造計算かスパン表を用いる。耐震等級2、耐風等級1以上など性能表示が出来ること	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	高気密・高断熱住宅を標準として、断熱性能を地域基準値以上を行う、付加断熱工法も積極的に取り入れる。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	隣家への落雪しない様に配慮した屋根デザイン、日照不足の解消の為南面のデザインの工夫、外壁劣化対策として軒の出を600mm以上設ける	冬期 ◎
④①～③の背景	東日本大震災等の地震多発地域、寒冷・多雪地域で年間の温度差が大きい、降雪や偏西風による日照不足、住宅には厳しい環境地域。少子高齢化が進み人口減少も顕著である	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 梁成の検討はスパン表似て実施、通柱120角を基準とする	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 2階床下地合板 24mm・28mm構造用合板の使用、岩手県産材を使用	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 2階床 水平構面の強化、@910毎に合板受材 24mm千鳥貼り 床倍率3倍	◎
②-1 建材・資材調達の見直し	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 国産集成材の数量・価格を決定し、共同購入の実施	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 見積価格の統一により、見積事務の軽減 年数回見直し検討会実施	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 現場加工の施工をいかに減らすか、プレカット、製材、施工業者が検討している。合板加工、プレーナ、サンダー掛、羽柄材加工の実施、ゴミの軽減	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局には、新工法、機械化による合理化施工など、多方面から情報が集まる、内容の選択し構成員へメールで伝えている。	○
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: JBN編集「木造住宅工事管理の実務」を施工基準とする	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: JBN編集「木造住宅工事管理の実務」の現場チェックシートにて確認及び弁別写真	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 坪単価一括見積でなく、工事種別に細目を付けて見積をし、顧客に丁寧な説明を行い、信頼を得る	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 各構成員のHPの充実を図り、グループの活動情報を広める。	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 業種によってばらつきが多く、給与体系も影があるが実施を目指す。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 職能手当等の取り組みは実施されている	◎
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 業種によってばらつきが多いが、公共物件等では加入が求められる	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 朝礼を実施し、天候・作業内容による、安全項目の再確認、	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	ゼロエネルギーへの取り組みの強化、長期優良住宅のメリットを顧客へ適切に伝える為のツールの作成	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 活木活木(いきいき)住宅	(地域型住宅供給対象地域) 青森県、岩手県、秋田県	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) いえもりの会北東北	(結成年) 2009 年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0054-0053		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 住宅蓄積情報のメンテナンステナンス基準	①-1 内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理計画書と指定図書を、住宅情報を蓄積・保管・管理又は、住宅履歴情報機関を利用	◎
		①-2 情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: JBN いえもりかるて等	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者期間利用者からは機関より報告、自社管理者は定期的に事務局にメール報告	◎
	② メンテナンステナンス基準	②-1 点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理計画を作成それに基づき実施	◎
		②-2 補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 補修マニュアル「木造住宅の耐久設計と維持管理・劣化診断」による	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者期間利用者からは機関より報告、自社管理者は定期的に事務局にメール報告	◎
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 建築に関わる業者(設備・屋根等)を招いて、クレームとその対処の勉強会の実施	◎
		③-2 DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 8月上旬 親子木工教室の実施	◎
		③-3 その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 完成見学会・地域イベントにて相談コーナーにて実施	◎
	④ 維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グリーン化事業推進委員会の部会を設置	◎	
	⑤ その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 災害時に種別に応じた、点検項目を設け実施	◎	
	b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 近隣施工構成員を事務局が選定してサポート	◎
		② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅瑕疵保証会社を講師に招き、総会にて勉強会の実施	◎
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
エ. グループの技術力の向上			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: JBN 主催の技術講習会への参加	◎	
	②-1 品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「木造住宅工事管理に実務」を基準とする	◎	
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 現場検査チェックシート及び現場施工記録写真	◎	
	③-1 需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 安心・安全住宅の推進、耐震等級3の住宅建築	○	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 耐震等級3住宅を目標とし、地盤、基礎、木構造の研修会の実施	○	
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: モデルによる木造構造計算による試算による、技術的検討及び見積書の作成	○	
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 30 今年度の参加目標人数 2	◎
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 26 今年度の参加目標人数 2		◎	
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: HP等で講習開催情報を得て、未受講者に受講させる		◎	
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 付加断熱工法の推進	○	
	② 新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 付加断熱の納まりと断熱材の選択	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 活木活木(いきいき)住宅	(地域型住宅供給対象地域) 青森県、岩手県、秋田県												
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) いえもりの会北東北	(結成年) 2009 年												
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0054-0053													
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。														
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与														
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	主要構造材の過半を地域材とする。 柱・2階梁桁を乾燥材又は集成材とする。 2階床下地合板24mm以上の構造用合板とし地域材を使用												
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上												
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している
主要構造材	土台: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	<p>岩手県産材証明制度 (トレーサビリティの確立)</p> <p>補足 ○県産材証明 国有林の場合Ⅱ構成員が代替、原木業者が多岐にわたる場合は所属団体が代替 ○合法木材証明 合法木材は産地、原木業者が多岐にわたり特定が困難な場合がありⅡ構成員が合法木材の証明を代替える。</p>												
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年間販売予測による計画発注と、適正在庫の確保												
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地域材は価格変動が少なく、年間契約で価格の安定を図っている。												
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 過去3年間のデータによって需要予測を実施												
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 年間使用予定枚数 48枚												
	①-2 和瓦の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 多雪地域の為、積雪荷重を考慮												
	①-3 襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 年間使用予定枚数 36枚												
	①-4 障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 年間使用予定枚数 18枚												
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 無落雪屋根、雪止め金具の設置												
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 敷地道路側に植栽をして、景観への配慮												
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 和紙クロスを取り入れ												
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。													
カ. その他														
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
	東日本大震災の復興に資する取組	被災事業者の製品をグループとして活用 岩手県産材 合板・集成材 福島 杉KD柱												
	平成28年熊本地震の復興に資する取組													

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

